

PROFILE——1936年松本市生まれ。65年東大  
大学国際関係学卒業。主な著書は「中国の悲劇」「日本人  
と中国人のここが大違い」など。パリ政治学院客員教授  
などを歴任、ハーバード大学編「ケンブリッジ中国史叢  
書」を執筆するなど国際舞台の第一線でも活躍中である。



# 日本社会の中の「異文化」

絵と文／東京外国語大学教授 中嶋嶺雄



私が大学で担当している国際関係論や地域研究のゼミナールにも、このところ留学生の数が急激に多くなってきた。10年前には、中国からの留学生と台湾からの留学生が仲良く机を並べていたのいかにも新鮮に感じられたが、今ではそれはごく当たり前で、特筆すべきことではなくなった。私のゼミの留学生諸君は、ほとんどが大学院生もしくは研究生であるが、彼らは大学院修士課程を終えるとほぼ全員が日本の企業へ就職する。銀行であったり、証券会社であったり、いずれも一流企業に採用されてかなりの高給を得るので多くの場合、結婚したり、妻子を中国大陸から呼び寄せたりして、そのまま日本で生活することとなる。となると、日本人のサラリーマンと伍して仕事をし、会社に慣れ、「企業化」して行かねばならないのだが、いかに大学院の課程で「異文化間交流」や「文化対照」などを学んでも、やはり戸惑うこと、違和感を覚えることが多いようである。

先日マレーシア出身で既に3年以上も証券会社に勤めているG君がやってきて言うには、日本人の会社組織の中で「仕事のあとの付き合い」がいかに重要であるかはようやく理解できるようになったが、日本社会における同級生、同窓生というきずな(絆)がこれほど強いとは思わなかったとのことであった。俗に「同じ釜のメシを食った」者同士という同族意識の中でも確かに同級生・同窓生意識はことに特殊であり、目に見えない社会的な連帯のネットワークを形づくっている。

世界的に著名な文化人類学者で「沈黙のこぼれ」「文化を超えて」など数多くの著作を持つエドワード・T・ホール博士には、夫人のミルドレッド・R・ホールさんとの共著で日米間のビジネス社会の違いを論じた『かくれた差異』(Hidden Differences, 1987)という本があるが、ホール夫妻も日本社会における同級生という特殊な存在に着目して、「同級生とのきずなは生涯を通じて続く。同級生は友人や知り合いの中でも特殊な地位を占めている。個人的な親疎とは別に、同級生のた

めなら特別な配慮を示し、手助けすることが求められる。このきずなほどの段階の学校にも通じるものである」と述べている。

もとより、同級生・同窓生の中から重要な人材が輩出すればするほど、その仲間たちのパイは大きくなるのだから、大学や高校の格付けとも無関係ではないが、同級生・同窓生同士の相互扶助関係はいわゆる学園とか大学間の格差とも異なった一種独特の日本社会的現象だといえよう。

この点で、日本企業に勤務し、日本社会に定住することになった留学生諸君には日本的な同級生・同窓生関係が異文化として映ずるのであろうが、同級生もしくは同窓生であることが、かえって人間関係に甘えをもたらし、折角の交友のパイを掃りくずしてしまうこともあるのだから、留学生諸君が一概に不利だとは言えないであろう。

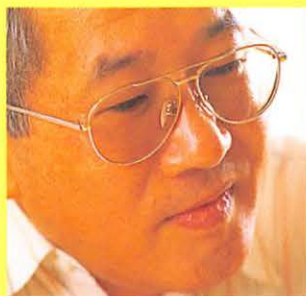
中国の北京出身のK君は、あるメーカーに勤めており、得意の語学力(英語・日本語・中国語)を買われて、外国人、主にアメリカ人のお客の接待をアレンジする仕事に就いているという。昨今は、アメリカのビジネスマンも上役になると夫人同伴が多く、京都や奈良、また箱根、鎌倉、日光といった観光地にも何度か行っている場合が多いので、商用後の小旅行の場所にも苦慮しているとのことであった。そこで私は「それなら上高地がいいよ。あそここの帝国ホテルは超一流だし、ウィークデーなら予約がとれるかもしれない。なんといっても、大正池からの穂高連峰の眺めは日本一だからね」とアドバイスした。

K君はさっそく、その秋に来日した2組のカップルを上高地に案内し、日本にもこんな雄大な自然があるのかと大変喜ばれたとのこと、彼の社内での信用は大いに高まったそうである。但し、アメリカ人は日本人と違ってプライベートな時間を大切にするので、K君は上高地での2日間、2組のカップルをそこに案内しただけで、食事も一切一緒にはしなかったとのこと。これも大切な異文化間交流のあり方なのであろう。

# CAREER INFORMATION

外国人留学生の  
ための就職情報誌  
キャリア・インフォメーション

1991/4 NO.4



●巻頭インタビュー——落合信彦  
君たちは非公式大使だ

●日本の第3の開国は君たちにかかっている——  
がんばれ 地球人!!

●最前線レポートPART I 「日本人」も「外国人」もない時代  
マスコミに見る外国人社員採用のビックウェーブ

●最前線レポートPART II  
なぜ、今 外国人留学生なのか

●これで君の将来が決まる(?)  
会社選びのポイント10

●TEA BREAK  
日本株式会社によこそ

●日本のカインシャ ここがおもしろい  
現役 人事部 外国人社員座談会

●エッセイ  
日本社会の中の「異文化」

OB & OG の日常生活をのぞいてみよう  
INFORMATION FOR YOU  
就職活動 A to Z

●伝言板 外国人留学生のための  
第3回「キャリア・セミナー」開催決定

●号外 日本初の外国人留学生と企業のコミュニケーション・スペース  
「キャリア・インフォメーション・プラザ」オープン

